

No.4「美しい立居振舞い(たちいふるまい)を身に着けよう」

Q 1 : 「美しい立居振舞いを身に着けよう」とは、どのようなことですか。

A : (1) No. 3 「5Sを身に着けよう」の5番目に「自分から進んで行く」という意味での「躰(しつけ)」がありましたが、「躰(しつけ)」には別の意味もあります。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 「美しい立居振舞い(たちいふるまい)」 ② 「美しい言葉遣い(ことばづかい)」 ③ 「元気なあいさつ・あいさつはこちらから」 |
|--|

この3つです。

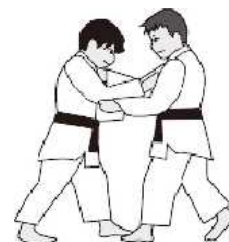


(2) 開倫塾では、No. 2 「靴は手でそろえる」、No. 3 「5S(ごえす)」と、この「①～③ 3つの躰(しつけ)」、No. 12 「感謝の心をもって勉強しよう」も、「開倫塾12の躰プログラム」として塾生の皆様にご紹介・おすすめしています。是非、これらも、広い意味での「学習習慣」の一環として身に着けて頂きたいと希望いたします。

Q 2 : <美しい立居振舞い(たちいふるまい)>とは何ですか。具体的にわかりやすく説明してください。

A : (1) 「エチケットを身に着ける」ということです。

- ① 例えば、開倫塾や学校の授業中には、授業中のエチケットを守ることが大切です。おしゃべりをする、ゲームやスマホをすること、歩き回ることなどは、授業中のエチケットに反します。「美しい立居振舞い」とはいえません。
- ② 授業が終わったら、使用した机やいすはきれいに元通りにすること、自分で出した消しゴムのカスはティッシュでとりまとめること、自分で出したゴミはすべて持ち帰って家で処分することなどは、「美しい立居振舞い」といえます。
- ③ 例えば、部活動などではみんなで準備や後片付け・掃除(そうじ)をする、職員室を出入りするときにはノックやお辞儀をするなどは、「美しい立居振舞い」です。よく考えれば、学校生活にも「美しい立居振舞い」として大切なことがたくさんあります。少しずつ身に着けていきましょうね。



Q 3 : 社会に出てから、「美しい立居振舞い」として大切なことは何ですか。

A : (1)「お先にどうぞ(After you、アフター・ユー)」です。これは、社会での「美しい立居振舞い」の代表例です。具体的には、

- ①建物や部屋の出入口では、「他の人に先を譲る」こと。
- ②乗物(バスや電車、エレベーターなど)に乗るときや降りるときには、「お先にどうぞ」と「他の人に先を譲る」こと。
- ③乗物の座席を譲ること。

(2)「重たいカバンや、重たい荷物などは持ってあげること」も「美しい立居振舞い」です。

(3)障害のある方がいらっしゃったら、「何かお手伝いできることはありませんか」などと声をかけ、できることはやってあげること。



- ①「点字ブロック」の上には、物を置かないこと。
- ②目の不自由な方には、必ず自分の氏名を名乗ってからお話をすること。
- ③語尾を明瞭(めいりょう)に、はっきりして、できるだけゆっくり話すことなどに気を付けることは、「美しい立居振舞い」と考えます。

(4)「食事のときには、全員の料理がそろうまで手を付けない」こと。

*逆にいうと、レストランや食堂は、料理はバラバラに出さないこと、できるだけ全員分を一斉(いっせい)に出すことが求められます。



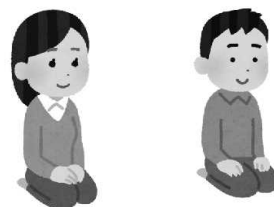
(5)場合によっては、その場に合わせた「服装も大切なエチケット」、「美しい立居振舞い」に含まれます。

*別に高価な服装でなくてもよいのです。その場に合う小ざっぱりとした服装が大切です。

Q 4 : 歩き方や座り方、お辞儀の仕方でも「美しい立居振舞い」に入るのですか。

A : (1)はい。あまり無理をすることはありませんが、きれいな歩き方や座り方、お辞儀の仕方をする人を見かけたら、少しずつでも参考にすることをおすすめします。

(2)ただし、くれぐれも無理をしないことです。私は、中学校と高校のときに足首を何回も捻挫(ねんざ)したため、正座をすることが苦手です。そこで、座るときにはできるだけいすを使わせて頂いています。いすのないときは、「あぐら」をかかせて頂いています。くれぐれも無理はしないことです。



Q5：では、どこで「美しい立居振舞い」を身に着けたらよいのですか。

(1)私の場合には、中学で柔道や陸上競技をやっていたので、練習の最初や最後のミーティングでのあいさつ、大会の開会式と閉会式、試合の前のあいさつ、試合終了後のあいさつなどで、「姿勢を正しくすること」や「お辞儀の仕方」をずいぶん学ぶことができました。

(2)①日本の学校では、入学式、卒業式、学期ごとの始業式・終業式、毎週の朝礼、毎日のHRや反省会、修学旅行や宿泊体験、文化祭や体育祭など様々な会合や学校行事で「姿勢を正すこと」や「お辞儀の仕方」をはじめ「美しい立居振舞い」を具体的に学ぶことができます。



②また、学校外のスポーツ団体、文化団体、社会活動の団体の様々なプログラムでも、「美しい立居振舞い」を身に着けるチャンスが山ほどあります。

③学校や学校外の活動に積極的に参加し、「立居振舞い」をしっかり身に着けてくださいね。

(3)①皆様は、あまりご存知ないと思われませんが、実は、日本の小学生、中学生、高校生の多くは、世界でも最もよく「立居振舞い」の教育がなされていると、世界中の方々から高く評価されています。

②日本人の「立居振舞い」のよさは、学校や家庭、様々な形での社会教育の成果と考えます。

③特に、学校での教科以外の教育活動、学校外の民間教育活動、それに、家庭での躰教育の成果だと考えます。

